

# わたしたちにできること

市は昨年5月に内閣府より「SDGs 未来都市」に認定されました。持続可能な(住み続けられる)まちづくりに向けた市の取り組みや私たちができる身近なことについて、5回(7・8・10・12・3月)に分けて紹介します。



## SDGs 未来都市 菊池市

### 産官学連携によるまちづくり ～包括連携協定企業・大学との交流会～

17 パートナシップで目標を達成しよう  
市では現在、企業や大学と計23件の協定を締結。教育や人材育成、産業振興など多様な分野で連携し、まちづくりに取り組んでいます。

6月13日、包括連携協定を締結している企業や大学などと市内の各種団体が集まる交流会を初めて開催しました。交流会を通じて、新たな地域活性化の手法やビジネスチャンスの発掘、SDGsの推進などにつなげていきます。



企業や大学などから約50人が出席し、連携を深めました

#### 連携事例①



6月に菊池南中学校で行われたワークショップ(関連27頁)

### 中学生対象SDGsワークショップ

市は、SDGs 未来都市に認定された令和3年度から、菊池青年会議所と連携し、SDGsのワークショップを開催しています。

ワークショップを通して、生徒一人一人ができることを考え、持続可能なまちづくりのための人材育成につなげることを目的に活動しています。

#### 連携事例②

### 小学生を対象にSDGs講座

今年度から、小学生を対象とした講座を開催しています。6月から7月にかけて七城小学校、隈府小学校、泗水小学校で講座を実施しました。

SDGs教育に実績のある企業から派遣された講師が、児童たちに分かりやすく説明しました。



6月に七城小学校で開催したSDGs講座

#### インタビュー 講座を聞いて

中本 貴太さん(七城小6年)

環境委員をしています。今日学んだことをこれからの委員会活動に生かしていきたいです。

一番ヶ瀬 光里さん(七城小6年)

世界には、貧困な生活を送り、教育も受けられない人が7億5千万人もいます。将来、色々な文化に触れ、困っている人を助けたいです。

#### インタビュー 初めて開催した子ども向け講座

あいおいニッセイ同和損保保険(株) 熊本支店 推進役 野中 博義さん

子ども向け講座は初めてだったので心配していましたが、皆さん熱心に受講されていて、SDGsに対する関心の高さを感じました。

今回の講座を通じてSDGsへの理解を深め、日常生活の中でSDGsの目標達成に貢献できる行動を取ってもらえたらうれしいです。



三浦一広さん

7月2日、菊池市文化会館にて開催された集会で、NPO法人奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」所長の三浦一広さんの講演があった。  
三浦さんは30年以上、非行や不登校・引きこもりなどの行動をとる子どもたちの支援を続けてこられた方である。それらの子どもたちの背景には、DV、虐待、愛情不足などの厳しい現実があることを多く目にしてきたそうだ。彼らを力でねじ伏せるのではなく、「許す」「認める」「ほめる」「励ます」「感謝する」ことで、子どもたちは夢を持ち、前向きに生きていく人間に変わっていくことを自身の体験

#### 青少年健全育成講演会 「社会を明るくする運動菊池市集會共催」

をもとに話された。  
確かに、罪を犯す前にその子どもに信頼できる誰かがいたら、また、自分が必要な存在であることを感じさせてくれる誰かがいたら起ころなかった犯罪もたくさんあったのだらうと思った。  
そして、その誰かに私たちが一人一人がなることができるのではないかとと思う。集会では小中学生の作文発表や集会を運営する高校生姿があった。それは明るい社会づくりの若い担い手の代表のようでもっとも感じた。  
私たち大人は、自分ができる少

#### 子どもを守る！ 地域・学校の連携

6月に入り、市内の児童園児を誘拐し、殺害するという脅迫メールが相次いで届きました。市内の小中学校は、児童の下校時に保護者への直接引き渡しや集団登下校

#### 推進員の活動

の措置を取りました。併せて地域による巡回パトロールを強化し、学校と地域が連携して児童の安全を守る対策を講じました。現役保護者としては心強い限りです。  
今回、幸いにも事件の発生はありませんでしたが、学校や地域子どもを取り巻く社会環境は、時代とともにどんどん複雑化し、子どもたちが犯罪に巻き込まれる可能性も高まっています。  
これからも学校地域の連携・協働によって、子どもたちの健やかな成長を見守るため、お力添えをよろしく願っています。  
青少年育成推進員 末田三紀子

○旭志小中校区推進員  
4月12日、あいさつ運動を行いました。コロナ対応のため、学校訪問は行いませんでした。小中とも、1年生の姿がとも初々しく、表情もやる気にあふれていました。  
青少年育成推進員 岩根美紀

○花房小学校校区推進員  
5月13日、あいさつ運動と学校訪問を実施しました。早朝7時から校門であいさつ運動を行い、その後、校長・教頭先生と懇談し、クラスを見て回りました。

#### 最後まであきらめず笑顔で！ 旭志小学校運動会

子どもたちは、ややおとなしい感じはしましたが、元気にあいさつができていました。先生方は、地域の方々の協力など、良い環境で教育ができていことに感謝されていました。  
本年度の学校行事は例年通りということですが、参加はできなくても、いろいろ協力できることは増えそうです。  
青少年育成推進員 阪本正富

5月28日、晴天の空の下、旭志小学校で運動会が行われました。昨年は新型コロナウイルスの影響で11月の開催でしたが、今年度は5月のさわやかな風の中、予定通りに行うことができました。  
短い練習期間にもかかわらず、朝の授業前の時間や昼休み時間を活用して、上級生がリーダーとなり、下級生に応援やソーラン節などの演技を指導する姿が見られました。  
当日は、かけこで靴が脱げたり、大玉転がしでは玉と一緒に回ってしまったりと、ハプニングもありましたが、勝ち負けに関係なく、あきらめずに最後までやり切った子どもたちの笑顔がとても印象的でした。  
青少年育成推進員 永田菜穂子

#### 第18回 菊池ふるさとかるた 空あおぎ 平和を祈ろう 花房飛行場跡



花房飛行場給水塔(市指定文化財)

花房飛行場跡(花房)  
花房台地に、1941(昭和16)年7月、飛行場が建設されました。飛行場には数多くの練習機や戦闘機、施設があり、厳しい訓練が行われていました。戦争が終わり、飛行場もなくなり、足跡を深く受け止め、平和を祈り続けましよう。